

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ナイト	Lv.1:		レベル	11
サポートクラス	シーフ	Lv.1:	シーフ	性別	女性
称号クラス				年齢	??
種族	ヴァーナ			境遇	放浪者
出自 (効果)	王侯貴族			目標	好奇心

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	13	16	3	0	0	15	0
ボーナス	4	5	1	0	0	5	0
クラス修正	2	2	2	0	1	1	0
他修正							
能力値	6	7	3	0	1	6	0

HP	124
MP	78
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	アダマンチウムウィップ	至近	-2	14	0	0	0	0	0
左手	リフレクトシールド		0	0	0	8	2	0	0
頭部	ガラスの王冠					4			
胴部	ミスリルベスト					9			0
補助	トリックマント					5			
装身具	豪傑の証		1			5			
能力値			7	0	3	0	6	4	11
スキル	破竜、ライオングライド、シールドカイク、エンペラカイク、バクパック、HPポーション		10	21		4	4	10	28
その他	フェイス：ゴウァノ、廃魔の誓い、戦士の環		1			2	5		
総計(右)			17	35					
総計(左)			19	21	3	37	17	14	39
総計(両)									m
ダイス数			3 d	5 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	1			1	+ 2 d
トラップ解除	7			7	+ 2 d
危険感知	1			1	+ 2 d
エネミー識別	0			0	+ 2 d
アイテム鑑定	0			0	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
ウサギ？のぬいぐるみ	
ベルトポーチ	
バックパック	
HPポーション	
MPポーション	
戦士の環	
破竜	
ハイMPポーション	

現在重量： 9
 最大重量： 20
 所持金： -27285
 預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ヴァーナ：猫族	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：	猫族、作成時に敏捷基本値に+3							
ボルテクスアタック	★	-	効果参照	-	自身	自動		
効果：	対象を単体にダメージ+CL*10							
コンパニオン	★	-	アイテム	-	自身	-		
効果：	バトル専用の乗り物一つ取得							
アームズマスタリー：鞭	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：	命中+1D							
スペシャライズ：鞭	5	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：	命中+SL ダメージ+SL							
ロデオ	★	-	パッシブ	-	自身	-	騎乗	
効果：	[スリップ]を受けても騎乗解除されない							
ライドファイト	3	-	パッシブ	-	自身	-	騎乗	
効果：	命中+SL、ダメージ+SL*2							
ライトニングライド	3	-	パッシブ	-	自身	-	騎乗	
効果：	【行動値】【移動力】+(SL*2)+2]							
コンパニオンマスター	2	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：	物防+SL*2、魔防+SL*2							
ウェポンフォーカス	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：	ダメージ+5							
廃魔の誓い	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果：	魔防+4 魔法を使わない							
プロボック	1	4	セットアップ	10m	単体	筋力		
効果：	【精神】で対決、達成値に+[SL*2]。勝利したら逆上付与							
ランナップ	★	3	セットアップ	-	自身	自動		
効果：	戦闘移動を行う							
コールドラゴン	★	4	セットアップ	-	自身	自動		
効果：	竜という名のぬいぐるみにのる							
アームズレンジ	1	3	ムーブ	-	自身	自動	片武器	
効果：	白兵射程を5mに、エンゲージしていない対象にも攻撃可。X印中							

「あばらんって、なに…？」
「…みんなと、いっしょにいく」
「ぐるぐるまき…」

いつも抱えているぬいぐるみと、鬱々として暗い表情が特徴のヴァーナの少女。
ぬいぐるみから伸びる触手(本人は鞭だと言い張っている)で戦う。

自分が死んだ時のことは覚えているものの、積極的に話そうとはしない。
また、初対面の人にべたべた触るという変な癖がある。
「ただなんとなく」メンバーについて行き、旅をすることになるが…

性格は暗く寡黙で、非常におとなしい。
しかし割と素直で、言いたいことは言うタイプ。
あまり可愛くないウサギのぬいぐるみをとても大切にしており、どんな時でも肌身離さず持ち歩いている。

その正体は、エリンディル某国の貴族の娘。
ルルフェットの母親は、彼女を身籠っている状態で毒殺未遂を受ける。
母子ともに一命をとりとめたものの、その後生まれた娘は、生まれながらに母の飲んだ毒を体に宿した「毒姫」だった。

ルルフェットの両親は、彼女を政略結婚、ひいては暗殺の道具として育てることにする。

